

ごあいさつ

広島県福山市立常金丸小学校

学校教育目標：立志・貢献・郷土愛

育成する力：課題解決力、コミュニケーション力、挑戦する力、地域貢献力

校長 児玉 勝典（こだま かつのり）



平成31年4月1日、着任しました。

地域の宝である子どもたちがりっぱに育つよう指導して参ります。

みなさん、応援をお願いします。

4月8日、始業式の式辞の一部を紹介します。

一人はみんなのために

みんなは一人のために



新学期スタートに当たって、皆さんにひとつの言葉を贈ります。それは「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉です。

新学期は、新しいスタートです。学級の友達一人ひとりが、また学校中の友達が、毎日楽しい学校生活を送ることができるように、皆さんで力を合わせてほしいと思っています。その時に考えてほしいのが、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」ということです。

楽しい学級は、みんな一人ひとりの気持ちが合わさったときにつくられます。自分勝手な行動をしたり発言したりする友達がいては学級全体がまとまりません。いつも学級のチームワークを考えた言動をとったり、仕事をしたりできるよう頑張ってみましょう。特に上級生である5・6年生は委員会活動や運動会や学習発表会などのいろいろな学校行事では、学校の中心となって、みんなのために活動してほしいと思います。それが「一人はみんなのために」ということにつながります。

では、「みんなは一人のために」とは、どのようなことでしょうか。皆さんの学級に、遊ぶ相手がいないくひとりぼっちでいる人はいませんか。また失敗してしまった人をひやかしたり、責めたりする人はいませんか。そんなとき、そっと手を貸してあげたり、優しい言葉がけができたりする人になってほしいです。困っている時や淋しい時の一言は大きな勇気を与えてくれます。

また、心の底では「してはダメ」が分かっているけども何回も迷惑をかけてしまう子がいるかもしれません。その困ったことを一緒に解決してあげられる声かけが必要な人もいるかもしれません。

みんなが一人ひとりの気持ちを分かり合い、支え合える学級、お互いの考えを認め合い、新しい物をつくり出していく学級、みんなが安心して楽しい生活ができる学級にしてほしいと思っています。

そこで、皆さんに提案があります。今年一年、頑張るテーマを「チャレンジ」とします。「資格試験で何級を取る」というチャレンジもあれば、「続けてこれをする」というチャレンジもあります。また、夏休みなどに「体験する、作成する」などのチャレンジもあるかもしれません。これらは、自分自身を向上させたり、周りを元気づけたりするチャレンジでなくてはならないので、「ウィズ ア スマイル」（笑顔と共に）を付け加えたものにしてほしいと思います。また、先程言った「一人はみんなのために、みんなは一人のために」につながるものにしてほしいと考えます。家の人や担任の先生に「これ頑張ります」と宣言して始められるといいなとも思っています。

そして、1年間の楽しい学校生活を送る基本は、何と言っても「健康な体」です。体が元気でないとよい考えも生まれてきません。友達を思いやるゆとりもできません。

いつも元気で明るい子ども、心の優しい子どもになりましょう。